



2006年2月21日

JSAT 株式会社

株式会社 SOZO 工房

ジャパン ケーブルキャスト株式会社

JC-HITS 事業の譲渡に関するお知らせ

～新たな体制で、ハイビジョン放送など高付加価値サービスの拡充を進めてまいります～

ジェイサット株式会社（以下 JSAT、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：磯崎澄）と株式会社 SOZO 工房（以下、SOZO 工房、本社：東京都千代田区、代表取締役：石橋省三）は、JSAT の完全子会社であるジャパン ケーブルキャスト株式会社（以下、ケーブルキャスト、本社：東京都中央区、代表取締役社長：藪下憲一）が展開するケーブルテレビ局向けデジタルソリューションサービス「JC-HITS（ジェイシー・ヒッツ）」事業につき、ケーブルキャストの全株式等の譲渡に関して合意し、本日基本合意契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

この度の合意に伴い、SOZO 工房は JC-HITS 事業を継承し、既存チャンネルのハイビジョン化及びチャンネル数の増加の早期実現に努め、既存事業の更なる品質向上を図ると同時に、ケーブルテレビ事業のさらなる高付加価値化に向け、双方向サービスを始めとした新規事業も展開する予定です。

JSAT は、通信衛星回線の提供を含む当該サービスの運用に関連する業務を受託することで、今後も JC-HITS サービスの品質の維持・向上をサポートいたします。

なお、最終合意及びそれに基づく事業譲渡の期日は2006年3月末日を予定しております。JC-HITS サービスは、新体制下におきましてもケーブルキャストが従前どおり安定的かつ継続的に提供してまいりますので引き続きご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

【添付資料】

1. JC-HITS 事業譲渡の経緯及び今後の展開等について
2. 株式会社 SOZO 工房の概要
3. ジャパン ケーブルキャスト株式会社の概要

【本件に関するお問い合わせ先】

JSAT 株式会社	株式会社 SOZO 工房	ジャパン ケーブルキャスト株式会社
広報 IR 部長 宇佐 日出人 03-5219-7778 h-usa@jsat.net URL:http://www.jsat.net	事業開発室長 林 俊一 03-3230-2981 khayashi@sozokobo.co.jp URL:http://www.sozokobo.co.jp	経営企画部長 前田 陽介 03-5299-2502 y-maeda@cablecast.co.jp URL:http://www.cablecast.co.jp

(添付資料)

1. JC-HITS 事業譲渡の経緯及び今後の展開等について

JC-HITS は、2004 年 2 月の配信開始以来、ケーブルテレビ業界関連事業者様から、その経済性・効率性をご評価いただき、ご利用予定局を含めた導入局は約 130 局に及ぶなど、順調に拡大し、デジタル新時代のケーブルテレビサービスの実現に不可欠なアプリケーションとして成長させていただきました。

その一方で、ここ最近の FTTH サービス^{*1}や IP 系放送アプリケーション^{*2}の拡大をはじめとした急激な事業環境の変化により、ケーブルテレビ事業者様の収益拡大のためには競合事業者と明確に差別化できる、より付加価値の高いサービスの拡充が重要視されるようになってきております。JC-HITS におきましても、サービスの更なる発展と向上にむけて新たなアプリケーションの提供を可能とする体制に転換する必要性が生じてまいりました。

このような認識の下、JSAT では JC-HITS 事業を発展させるための総合的な事業見通しについて改めて検証した結果、衛星事業者である JSAT 単独の支援による事業拡大に限界があること、及び JSAT 自身の衛星事業者としての事業の選択・集中の観点から、JC-HITS サービスの継続を前提としつつ、協業できるパートナーを検討してまいりました。

こうしたなか、JSAT は SOZO 工房より JC-HITS 事業の譲渡に関する申し入れを受け、交渉を進めてまいりました。SOZO 工房は TMT (テレコム、メディア、テクノロジー) 分野を中心に企業への経営支援及び投資活動を行っており、日本のケーブルテレビ産業及びそれに深く関わっている JC-HITS 事業の将来性を高く評価しております。

JSAT と SOZO 工房の両者が合意に至りましたのは、SOZO 工房が JC-HITS サービスの継続性はもとより、ケーブルテレビの市場拡大を促す新規アプリケーションの導入に向けた体制が構築できる点などを JSAT が総合的に勘案した結果、JC-HITS 事業を譲渡し、新体制下で当該事業の推進・拡大を図ることがケーブルテレビ業界全体の発展に繋がると判断したことによります。

このたび JSAT はケーブルキャストの全株式等を譲渡いたしますが、引き続き衛星回線の提供を含む当該サービスの運用に関連する業務を受託し、JC-HITS サービスの安定的かつ継続的な供給を支援してまいります。また SOZO 工房は新体制下において、番組のハイビジョン化やチャンネル数の増加などを通じた既存 JC-HITS 事業の拡大とともに、ケーブルテレビ事業の優位性を最大限に発揮すべく、双方向アプリケーションなど新たなサービスの開発・供給及びこれを推進するための更なる資本の拡充とアライアンスの構築に邁進いたしますので、今後ともご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

^{*1}FTTH サービス：Fiber To The Home. 光ファイバーによる家庭向け大容量・常時接続の通信サービス

^{*2}IP 系放送アプリケーション：Internet Protocol を用いたブロードバンド回線上の放送や VOD 等のサービス。

2. 株式会社 SOZO 工房の概要

社名の SOZO は「想像」と「創造」を意味し、産業及び企業に関わる皆様に、想像力豊かで創造性に富む提案と支援を行い、より大きな価値を創造していただくことを理念にしています。

事業内容は、テレコム・メディア・テクノロジー（TMT）分野の企業へ向けて経営戦略、事業戦略、財務戦略などに関するコンサルティング、実行支援を行っています。また、100%子会社である SOZO 工房投資を通じた投資活動を組み合わせることで、投資対象の企業価値を最大化させる取り組みを推進しています。

(1) 会社概要

所在地 : 東京都千代田区麹町 3 丁目 3 番地
代表者 : 代表取締役パートナー 石橋省三
資本金 : 3000 万円
設立 : 2003 年 12 月

(2) 代表者等の略歴

石橋省三（いしばし しょうぞう）

(株)SOZO 工房 代表取締役パートナー、(株)SOZO 工房投資 代表取締役パートナー
(略歴等)

1976 年	野村総合研究所入社
1990 年	同社ロンドン現地法人勤務。以降同社リサーチ部門長及び野村證券ロンドン現地法人の欧州株式部門共同部門長を歴任
1995 年	野村総合研究所経営開発部長。以降野村證券金融研究所経営調査部長、副所長兼企業調査部長等を歴任
2000 年	リーマン・ブラザーズ証券会社マネージングディレクター・アジア株式部門エグゼクティブ
2003 年	財団法人石橋湛山記念財団理事長（現任）
同	株式会社 SOZO 工房設立。同社代表取締役パートナー（現任）
2004 年	国立大学法人東京医科歯科大学理事（現任）、名古屋商科大学教授（現任）
1974 年早稲田大学大学院理工学研究科修了。1976 年英国ケンブリッジ大学政治経済学部卒。日本アナリスト協会検定会員。	

太田清久（おおた きよひさ）

(株)SOZO 工房 取締役パートナー、(株)SOZO 工房投資 取締役パートナー

（略歴等）

1983 年	野村総合研究所入社、証券アナリスト業務を歴任
1996 年	メリルリンチ証券会社入社
2000 年	同社調査部長
2003 年	株式会社 SOZO 工房取締役パートナー（現任）
1994 年から 2000 年まで、日経アナリストランキング通信部門第 1 位。1996 年から 2000 年まで「Institutional Investor」誌のアナリストランキング通信部門で第 1 位。1983 年東北大学経済学部卒、日本証券アナリスト協会検定会員、メリルリンチ日本証券会長室付エグゼクティブアドバイザー。	

瓜生憲（うりゅう けん）

(株)SOZO 工房 取締役、(株)SOZO 工房投資 取締役

（略歴等）

1997 年	株式会社 NTT ドコモ入社、IR 業務などに従事
2000 年	メリルリンチ証券会社入社
2003 年	ゴールドマンサックス証券会社入社
2005 年	株式会社 SOZO 工房取締役（現任）
ゴールドマンサックス証券会社ではメディア、エンターテイメント、インターネットなどをアナリストとして担当。在籍時には「Institutional Investor」誌アナリストランキングのエンターテイメント部門などで上位にランクされる。1997 年米ボストン大学スクールオブマネジメント卒、ゴールドマンサックス証券会社アドバイザー。	

以上

(添付資料)

3. ジャパン ケーブルキャスト株式会社の概要

(1) 会社概要

所在地 : 東京都中央区八重洲 2-2-1 ダイア八重洲口ビル 4 階

代表者 : 代表取締役社長 藪下 憲一

資本金 : 26 億円

設立 : 2002 年 10 月

事業内容 : ケーブルテレビ局向けデジタル化ソリューションサービス「JC-HITS」の提供

(2) JC-HITS サービスの概要

JC-HITSは、通信衛星を利用したケーブルテレビ局向け番組配信サービスで、ケーブルテレビ局が、デジタルサービスを実現するためのソリューションです。2004年2月に配信を開始し、現在PPVを含む64チャンネルを日本全国のケーブルテレビ局に配信しています。JC-HITSは以下のような特長を有しており、その採用局・拠点は予定も含め約130局に上ります。

トランスモジュレーション方式を採用しており、リマックス方式に比較してデジタルヘッドエンド初期投資負担が軽減できること

PPV サービスを含む多彩なベーシック・ペイチャンネルの充実によるサービスの付加価値向上が図れること

デジタル多チャンネルサービス運用に欠かせない C-CAS 視聴制御アプリケーションを含めたサービス提供を行っており、運用負担が軽減できること

トランスモジュレーション方式

BS・CSデジタル放送をケーブルテレビで再送信するための方式としてトランスモジュレーションとリマックスがある。トランスモジュレーションは、1本のトランスポンダ(衛星の中継器)に多重化されている複数の番組をケーブルテレビ局側がトランスポンダ単位で受信して変調方式のみを変更し、そのまま視聴者へ送出する方式。

リマックス方式

1本のトランスポンダに多重化されている複数の番組をケーブルテレビ局側が番組単位で受信して再編成・再多重をした後に視聴者へ送出する方式。

CAS (Conditional Access System)

ケーブルテレビやBS・CSデジタル放送などの有料放送サービスにおいて用いられている、限定視聴制御方式。視聴者が各々の視聴契約に基づいて視聴するチャンネル制御や番組視聴情報を管理する。日本ケーブルラボの規格標準化において次世代STB向けにB-CASおよびC-CASが選択されており、C-CASにおいては3つの異なる方式が認定を受けている。

PPV (ペイ・パー・ビュー)

実際に視聴した番組単位で課金される有料チャンネルの課金方法のひとつ。欧米では衛星放送、ケーブルテレビ事業者などが提供するサービスとして定着している。日本のケーブルテレビの有料チャンネルでは月額定額の課金形態が一般的。